

日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第

46

号

2023.4



新病院（栃木県日光市）

主な内容

開院挨拶	2
診療紹介（眼科）	3
部門紹介（医療安全推進部）	4
外来担当医一覧	5
新病院開院までの沿革	6
ドクターヘリ／スマホへの切り替え	7
宇都宮健康クリニック／求人情報	8



開院挨拶

獨協医科大学日光医療センター 統括管理者
中元 隆明



この度、念願の獨協医科大学日光医療センター新病院が移転竣工の運びとなりました。今まで必死に頑張ってきたセンター教職員のみならず、吉田謙一郎獨協学園理事長・獨協医科大学学長はじめ全獨協関係者の方々、栃木県、日光市をはじめとする各自治体、栃木県及び上都賀郡医師会、特に県西地区にあって地域連携推進法人「日光ヘルスケアネット」に参画する医療関係者の皆様には衷心より御礼を申し上げます。そして、地域住民の皆様のご協力とご理解がなくては実現しなかったことでもあり、重ねて御礼申し上げます。

振り返りますと当センターは急性期主体の医療を備えた基幹病院として2006年（平成18年）4月1日に珪肺労災病院から移譲を受けて日光市高徳に開設しました。全員一致の懸命な努力により順調に発展し、やがて大学病院としての機能と質も備わり、運営上も良好な状況を維持出来るようになりました。10年間を経たあたりから将来に向けた方針を示す必要性が出てまいりました。その結果、病院継続には移転新築が必要であって、その大きな理由として、建物の老朽化が激しいこと、鬼怒川と東武鬼怒川線に挟まれた狭い敷地では建て替えが出来ないこと、又、東に偏って位置し、日光市の基幹病院としては不適當な立地環境にあることが挙げられます。移転先は日光産業団地とし、その敷地内に建設を決定しました（敷地面積は7.5ヘクタール、駐車場を1500台確保、ヘリポートや学生・教職員宿舎・ヴィラージュ日光を整備）。ここは日光宇都宮道路土沢インターチェンジから車で5分のところで敷地内には日光市営と日光交通バスが乗り入れます。大学・基幹病院としての素晴らしい環境が整いました。新病院は耐震鉄筋コンクリート造りの4階建てで従来の診療科目・部門に加えて眼科と救急・総合診療科を新設。病床は199床。このうち4床は感染症個室（専用エレベーター設置）で、高度治療室（HCU）も新設しました。

これからの日光医療センターの役割は安心・安全な機能別医療体制づくりから急性期医療を担当し、日光ヘルスケアネットにおける各医療機関と連携を密にして日光全体の医療を行うこと、そして旅行者にも安心な医療体制を整備し、世界的観光地日光の復活と発展に役立つことにあります。皆様方の一層のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 眼科

【特徴・特色】

当科は、2023年1月から獨協医科大学日光医療センターの移設の伴い、新たに開設となりました診療科です。新設の診療科とはなりますが、今後は地域医療に対して貢献が出来れば幸いです。眼科の疾患は、やや特殊な領域となります。眼は、網膜からの電気信号が視神経を介して脳へ伝達させます。いわゆる、カメラ（動画）としての機能を有しております。眼疾患の主な眼症状は視力低下、霧視（かすみ目）、飛蚊症（ごみのようなものが見える）、視野欠損、眼脂、異物感、充血、などです。しかし、変視（ゆがみ目）、目のかゆみ、涙目、ドライアイ、光視症（閃光が走る）、疲れ目、目の痛み、眼瞼腫脹、眼瞼下垂、複視（二重にみえる）など多くの自覚症状を認めます。眼疾患の自覚症状は多岐にわたり、又多くの疾患が存在します。主な眼疾患は、下記の如くです。

- 屈折異常（近視・遠視・乱視・老視・眼精疲労・テクノストレス眼症など）
- 角膜疾患（角膜白斑・角膜変性症・円錐角膜・翼状片など）
- 結膜疾患（細菌性結膜炎・アレルギー性結膜炎など）
- 白内障（先天性白内障、老人性白内障、糖尿病性白内障など）
- 緑内障（閉塞隅角緑内障、開放隅角緑内障、続発性緑内障など）
- ぶどう膜疾患（サルコイドーシス、ベーチェット病、原田病など）
- 網膜硝子体疾患（網膜剥離、糖尿病性網膜症、網膜静脈閉塞症など）
- 黄斑部疾患（黄斑円孔、網膜前膜・加齢黄斑変性など）
- 眼瞼疾患（麦粒腫、霰粒腫、眼瞼下垂、眼瞼腫瘤など）

上記のように、多くの疾患がありますが特に白内障、緑内障は発症頻度が高いため、最も注意すべき疾患となります。上記のような眼の症状がありましたならば、早期に眼科受診をお願い致します。

【診療体制・診療の特徴】

午前の外来診療は一般外来として、眼科疾患の全般および紹介患者さんを対象として診察を行っています。午後は白内障、緑内障、硝子体など手術や硝子体注射、網膜光凝固、YAGレーザーなどの処置を行っております。

当科では、白内障、緑内障、硝子体などの手術適応疾患について、患者さんの利便性向上や術後の視機能改善を最大限に得られるための診療体系を構築しております。

日光医療センター眼科としての第一の特徴は、白内障手術に特化しております。白内障術後の日常生活がより快適になるための治療を行っております。第二の特徴は、マルチモダリングイメージを活用し、この画像を用いた御説明を行う事により、診療内容や治療効果をより正確に御理解して頂いております。

また、当科におきましては、迅速かつ正確な診断および適正な治療が可能とすべく、下記の通りの最新機器を導入しております。

1. 白内障手術ガイドシステム（VERION）+ SS-OCTバイオメーター ARGOS

白内障手術前に行われる眼軸長測定検査を高い精度で計測可能です。最新の機器から得られた情報を用いた白内障手術が可能のため、より精度の高い白内障の手術が可能となります。

2. 眼科用レーザー光凝固装置（パターンレスキャナーレーザー）

網膜光凝固が、従来の装置より効率的に行える最新の光凝固装置です。レーザー照射時の眼痛軽減および一回の照射において多数の照射が可能のため、治療時間の短縮可能となります。

3. タンゴオフサルミックレーザー（YAGレーザー）

後発白内障の治療のみならず、緑内障治療にも対応した高性能のYAGレーザーです。

4, 超広角走査型レーザー検眼鏡

超広角走査型レーザー検眼鏡は、網膜の約80% (画角200度) が瞬時に撮影が可能です。眼底疾患を診断する上で有用な眼底撮影装置です。

5, 前眼部光干渉断層装置

急性緑内障の発症予想が可能となります。

6, 後眼部光干渉断層計+眼底自発蛍光

光干渉断層計は、網膜の断面が観察可能です。微細な黄斑部疾患の診断が出来ます。また、網膜色素上皮機能が眼底自発蛍光の強度により推定可能となります。

7, OCTアンギオグラフィー

眼底における血球移動を測定することにより、造影剤を使用せずに血管造影検査を行います。加齢黄斑変性や糖尿病網膜症の診断や治療に有効となります。

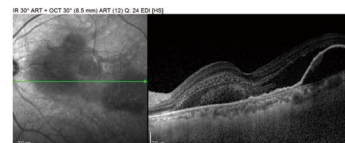
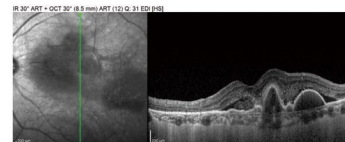
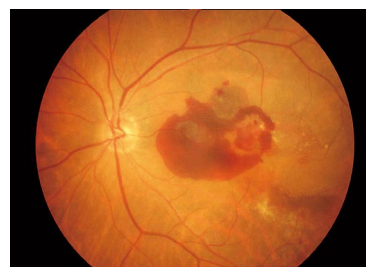


図1. 加齢黄斑変性 (眼底写真+光干渉断層計) ▶

図1は、加齢黄斑変性の眼底および光干渉断層計の写真です。近年、増加傾向の疾患で注意を要する疾患です。現在は、VEGF阻害剤の硝子体注射で視力低下を食い止める事が可能ですが、以前の視力の回復するわけではありません。

やはり、眼科疾患も早期発見及び早期治療が、有効な対策となります。皆様におかれましては、視機能に異常を認めましたならば、眼科への早期受診をお願い致します。

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 医療安全推進部

【業務内容】

医療安全推進部は、医療安全管理責任者の医師、医療安全管理者の看護師、薬剤部長、事務部担当2名で構成されています。

日光医療センターとして掲げている理念と基本方針に「安心して安全な医療の提供・実践」があります。患者さんと直接接する機会はありませんが、病院内の各部門において安全に対する決まりや、知ってほしいこと、なにか間違いや不具合などが起こった場合の対策を一緒に考えていきます。また部署の担当として、リスクマネージャーという役割があります。それぞれの部署において、決まっていることが守られなかったり、不具合が生じてしまう場合があります。そのような時にどうすれば同じことを繰り返さないか、どういうところを直せば安全にできるのか考えています。さらに院内の部署が安全に業務できる体制になっているか、確認事項は守られているか安全パトロールも行っています。おたがいに、改善すべき点を指摘できる環境が必要と考え実践しています。

【最後に】

患者さんも職員も大小さまざまですが、どうしてもトラブルが発生することも多くみられます。他人の改善にばかり目を向けがちですが、きっかけは自分の体調や気分にあることも振り返ると多く見られます。相手にかかる言葉次第で自分の感情が良くも悪くも動きますので深呼吸をして思いやりを持ってるといいと考えています。これからも「安心」「安全」で皆さんが過ごせるようにより改善をめざして取り組んでいきます。





外来担当医一覧

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器内科	知花和行准教授(新患) 伊藤 紘医師	戸田正夫特任教授 (伊藤原・アレルギー外来) 伊藤 紘医師	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	安藤雄基医師 (新患)	知花和行准教授 (新患)	小池涼次医師	知花和行准教授 (新患)	小池涼次医師	知花和行准教授 (新患)	原澤 寛特任教授(第1週) 戸田正夫特任教授(第2週) 伊藤 紘医師(第3週) 伊藤 紘医師(第4週) 伊藤 紘医師(第5週)
呼吸器外科														
消化器内科	*1 稲葉航平医師 *2 佐藤愛准教授(新患) 手塚勇吾医師(新患・救命)	稲葉航平医師	手塚勇吾医師(新患) 稲葉航平医師(新患)	手塚勇吾医師(新患) 稲葉航平医師(新患)	吉田栄輝医師(再診) 白岩祐奈医師(新患)	吉田栄輝医師(再診) 白岩祐奈医師(新患)	吉田栄輝医師(再診) 稲葉航平医師(新患)	佐藤愛准教授(再診) 手塚勇吾医師(新患) 稲葉航平医師(新患)	佐藤愛准教授(再診) 手塚勇吾医師(新患) 稲葉航平医師(新患)	井上 尚准教授(第1,3,5週)	佐藤愛准教授(再診) 手塚勇吾医師(新患) 稲葉航平医師(新患)	佐藤愛准教授(再診) 手塚勇吾医師(新患) 稲葉航平医師(新患)	手塚勇吾医師(再診) 白岩祐奈医師(新患)	
循環器内科	*1 鹿訪 秀明医師 *2 堀江康人教授 【不整脈外来】	杉山拓史医師	大谷 直由准教授 北原 慶次郎医師 下山 正博講師 【腎臓外来】	大谷 直由准教授 北原 慶次郎医師 下山 正博講師 【腎臓外来】	安 隆則教授 杉村浩之教授 【肺動脈圧・心カテリ外来】	安 隆則教授 杉村浩之教授 【末梢動脈疾患外来】	安 隆則教授 杉村浩之教授 【末梢動脈疾患外来】	川本 也也教授 【腎臓内科外来】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	川本 也也教授 【腎臓内科外来】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	川本 也也教授 【腎臓内科外来】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	川本 也也教授 【腎臓内科外来】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	川本 也也教授 【腎臓内科外来】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	堀江康人教授 巴 兼 医師	杉山 拓史医師(第1,5週) 安 隆則教授(第2週) 北原 慶次郎医師(第4週) 水口 聡医師
糖尿病・内分泌内科	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授(第2週) 齋藤千明医師(第1,5週) 齋藤千明医師(第4週)
脳神経内科	津久井大介医師 渡邊由佳准教授 (予約のみ)	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師	飯塚賢太郎医師(第2週)
外科	天下井恵理医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	柳久井大介医師	山口 悟教授 外科担当医交代制
整形外科	長田伝重教授 大江真人医師 高見澤 遼医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	長田伝重教授 都丸智平医師	整形外科医師 整形外科医師 整形外科医師
形成外科・美容外科	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	本荘和輝医師(第4週) 鈴木彩子医師(第2週)
心臓・血管外科														
皮膚科														
泌尿器科	幸 英夫准教授 *(予約外来)	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授(第1,4週) 横山 愛医師(第2,5週)
眼科	須田雄三特任准教授 吉澤晋也助教授	須田雄三特任准教授	須田雄三特任准教授	須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	吉澤晋也助教授 須田雄三特任准教授	幸 英夫准教授(第1,4週) 横山 愛医師(第2,5週) *(予約外来)
救急・総合診療科	柿本 慎太郎医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	巴 兼 医師	野村 藍葉医師
麻酔科														
トング・健診(予約制)	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授
看護外来														フットケア

令和5年4月1日現在

地域連携入退院支援センター
〒321-1298
栃木県日光市藤友145番地1
TEL 0288-23-7000 (代表)

地域連携入退院支援センター
TEL 0288-23-5097 (直通)

獨協医科大学日光医療センター
〒321-1298
栃木県日光市藤友145番地1
TEL 0288-23-7000 (代表)

受付時間：月曜日(8:50~11:00) ※再診受付欄が午前8時から稼働いたします。(再来予約の方)
 火曜日(8:50~11:00) ※再診受付欄が午前8時から稼働いたします。(再来予約の方)
 水曜日(8:50~11:00) ※再診受付欄が午前8時から稼働いたします。(再来予約の方)
 木曜日(8:50~11:00) ※再診受付欄が午前8時から稼働いたします。(再来予約の方)
 金曜日(8:50~11:00) ※再診受付欄が午前8時から稼働いたします。(再来予約の方)
 土曜日(8:50~11:00) ※再診受付欄が午前8時から稼働いたします。(再来予約の方)
 日曜日(8:50~11:00) ※再診受付欄が午前8時から稼働いたします。(再来予約の方)

○ 予約受付時間：月曜日(9:00~12:00)・火曜日(9:00~12:00)・水曜日(9:00~12:00)・木曜日(9:00~12:00)・金曜日(9:00~12:00)・土曜日(9:00~12:00)・日曜日(9:00~12:00)
 ※ 予約受付時間：月曜日(9:00~12:00)・火曜日(9:00~12:00)・水曜日(9:00~12:00)・木曜日(9:00~12:00)・金曜日(9:00~12:00)・土曜日(9:00~12:00)・日曜日(9:00~12:00)
 ※ 予約受付時間：月曜日(9:00~12:00)・火曜日(9:00~12:00)・水曜日(9:00~12:00)・木曜日(9:00~12:00)・金曜日(9:00~12:00)・土曜日(9:00~12:00)・日曜日(9:00~12:00)

○ 休診日：日曜・祝日、第3土曜、年末年始(12/29~1/3)、開学記念日(4/23)
 ○ 予約変更のご連絡は、原則として前日(土曜、休診日を除く)の午後5時~1時までにご連絡ください。その他の時間帯は、ご連絡ください。
 ○ 休診日(9/23)・休診日(12/29)・休診日(1/3)・休診日(4/23)・休診日(10/28)・休診日(10/29)・休診日(10/30)・休診日(10/31)・休診日(11/1)・休診日(11/2)・休診日(11/3)・休診日(11/4)・休診日(11/5)・休診日(11/6)・休診日(11/7)・休診日(11/8)・休診日(11/9)・休診日(11/10)・休診日(11/11)・休診日(11/12)・休診日(11/13)・休診日(11/14)・休診日(11/15)・休診日(11/16)・休診日(11/17)・休診日(11/18)・休診日(11/19)・休診日(11/20)・休診日(11/21)・休診日(11/22)・休診日(11/23)・休診日(11/24)・休診日(11/25)・休診日(11/26)・休診日(11/27)・休診日(11/28)・休診日(11/29)・休診日(11/30)・休診日(12/1)・休診日(12/2)・休診日(12/3)・休診日(12/4)・休診日(12/5)・休診日(12/6)・休診日(12/7)・休診日(12/8)・休診日(12/9)・休診日(12/10)・休診日(12/11)・休診日(12/12)・休診日(12/13)・休診日(12/14)・休診日(12/15)・休診日(12/16)・休診日(12/17)・休診日(12/18)・休診日(12/19)・休診日(12/20)・休診日(12/21)・休診日(12/22)・休診日(12/23)・休診日(12/24)・休診日(12/25)・休診日(12/26)・休診日(12/27)・休診日(12/28)・休診日(12/29)・休診日(12/30)・休診日(12/31)

* 眼科・令和16年1月から常勤医師の配属となります。
 * 総合診療科：令和5年1月から常勤医師の配属となります。
 * 呼吸器外科：令和5年1月から常勤医師の配属となります。
 * 泌尿器科：令和5年1月から常勤医師の配属となります。
 * 1:1予約外来 * 2:予約外来

新病院開院までの沿革

- R3.7.7 地鎮祭実施
- R3.8.27 移転新築工事着工
- R4.10.31 新病院竣工
- R4.11.26 患者移送シミュレーション実施
- R4.12.3 新病院竣工式開催
- R4.12.4 新病院一般内覧会開催
- R4.12.12 ドクターヘリテスト飛行実施。
- R4.12.14 新病院消防訓練実施
- R5.1.1 入院患者移送開始、同日完了
- R5.1.4 新病院オープニングセレモニー開催
外来診療開始

〈消防訓練〉



〈オープニングセレモニー〉



〈一般内覧会〉



〈患者シミュレーション〉



〈竣工式〉



ドクターヘリ テスト飛行実施

新病院では敷地内にヘリポートが設置されたことにより、これまで以上に迅速な対応が可能となりました。

12/12には当センターに実際にドクターヘリが着陸するテスト飛行を実施しました。



PHS→スマホへの切り替え

院内の教職員が連絡用に携帯しているPHSが新病院に移転すると共にスマートフォンへと切り替わりました。これにより連絡体制の幅が広がりました。

拡張性も大いにある為、今後さらなる利便性の向上を期待しています。



連携医療機関認定病院紹介 医療法人 宇都宮健康クリニック

理事長 山下 義博 所在地 栃木県宇都宮市徳次郎町5番地5

当クリニックは宇都宮インター近くに立地し、精神科・心療内科と人間ドック、巡回健康診断業務を行うことを目的として運営しております。平成10年に宇都宮市六道町に開設し、間もなく25年の節目を迎えます。平成18年に現在地に移転し、地の利を活かして、県内各地に日々計12台の健診車を走らせています。

健診・検査業務として、地域保健には特定健康診査や基本健康診査、各種がん検診、結核検診等を、職域には定期健康診断や生活習慣病健康診断のほか、じん肺・有機溶剤・特定化学物質・騒音作業健康診断など、労働安全衛生法、行政指導に基づく健康診断等を行っております。お陰様で、地域保健では日光市を始め県内6市町で年間およそ2万人、職域では県内2千の事業所でおおよそ8万人の受診者様にご利用いただき、地域に根ざした健康づくりを目指しております。

多くの受診者様の期待に応えるべく、保健師・管理栄養士・産業医による事後指導を充実させ、スタッフの研修会受講や技術研鑽、最新医療設備導入を図っているところではありますが、当クリニックでは依然として二次健診を実施する体制が整備されておりません。「所見あり」と判定された受診者様を安心して二次検査に紹介させていただける獨協医科大学日光医療センターの存在は、連携病院として心強いばかりでなく、再検査・精密検査結果のフィードバックにより当クリニックの精度管理向上に寄与していただき、たいへん感謝しております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



当センターと一緒に働いてみませんか？

令和5年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288-23-7000(内線5300) 看護部

編集後記

鶏頂山の麓、高德から男体山の麓、森友へ移転し数ヶ月が経ちました。みなさんは新しい環境に慣れたでしょうか？私は新しい場所・システムに惑わされ、全てのことが真新しく感じるマジックにかかってしまいました。右往左往し、思うように仕事がかどらず落ち込んでいると、小学生の娘が「ママはポンコツだけど毎日頑張ってるよ。元気出いなよ。」と彼女なりの言葉で励ましてくれました。娘の成長に負けないよう、私もポンコツ返上をめざし、日々努力をして新しい環境に適応していきたいと思えます。

(T・K)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第46号

〒321-1298 栃木県日光市森友145-1 TEL 0288-23-7000(代表) FAX 0288-23-5000

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>

発行年月日/令和5年4月00日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター
広報・マーケティング委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<https://www.dokkyomed.ac.jp/>

[nmc/recruit-nurse/](https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/)

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

